

詩・和歌・俳句・川柳 その709

(令和元年5月13日掲載)

☆道端に金平糖咲く姫蔓蕎麦 (田越川遊歩道)

☆ヒメツルソバの古里はヒマラヤ (同上)

☆春と秋二度楽しめる花と葉 (ヒメツルソバ)



(令和元年11月11日掲載)

☆花も咲きヒメツルソバの草もみじ (11/3 田越川遊歩道)

☆あのブルーポピーと同じ古里か (同上 堀文子の絵を想う)

詩・和歌・俳句・川柳 その710

☆カラスウリ夏の夜に咲くレース編み (11/3 安野光雅描く赤い実を見て)

☆シシリアの風景逗子にもあるある (11/4 披露山から逗子市内を望む)

☆バルサミコ酢もカボスも柚子もある (11/4 逗子の店)

☆ひと駅を自転車漕ぐ遊歩道 (11/10 田越川遊歩道)

☆草紅葉道端に姫蔓蕎麦 (11/10 田越川遊歩道)

◇数学者・藤原正彦氏の小学校時代の絵の先生が安野光雅先生でした◇二人の対談集『世にも美しい日本語入門』ちくま新書のまえがきで藤原氏が当時のことに触れています◇ある朝の新聞に安野氏が描いたカラスウリの赤い実を見て思い出したこと◇「千の声 VOICE」2018年夏・創刊号に『じっちょりんのなつのいちにち』を紹介しました◇最初のページを開くと縁の下に草花が描かれています◇ページをめくっていくとひとつひとつ草花の名が分かります◇夏の一日の終わりの夜の庭で花火をしています◇縁の下から花火を見ているじっちょりんの家族と白い花が咲いています◇カラスウリの白い花は夏の夜に咲くと言います◇寺田寅彦に『からすうりの花と蛾』があります◇この世界はフシギな出会いに満ち溢れています■

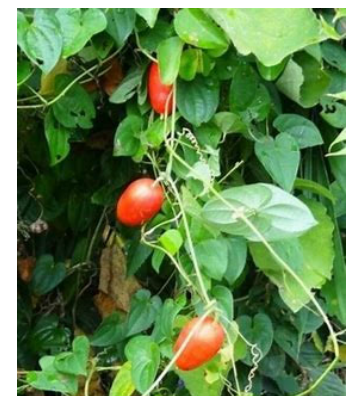
植魚

植魚

植魚

植魚

植魚



詩・和歌・俳句・川柳 その711

☆川堤柿の実桜の紅葉 (11/11 藤沢)

☆生徒の理解、理解せず苛立つワレ (11/13 教室)

☆好きなのは本に美女に遊歩かな (11/17 田越川遊歩道)

☆ひとみの音に恋指に恋声に恋 (上原ひとみジャズピアニスト)

☆レース編み擽めて赤き実に包む (カラスウリ)



植魚

植魚

植魚

植魚

植魚